

令和7年度 事業計画

A 令和7年度の重点課題

中期事業計画（2024～2028年度）に基づき、令和7年度においては特に次の事項を重点課題として、学院および部門（各学科、キャリア支援室、事務、各委員会）が取り組んでいく。

1. 教育体制並びに教育内容の充実及び質の向上

理学療法学科夜間部では、魅力的な夜間部のあり方を新たに創出しその発信に力を入れ、受験生や就職先からの信頼に応えていく。理学療法学科昼間部においても、国家試験の合格率を維持しつつ質の高い理学療法士の輩出に努める。夜間部から昼間部に衣替えした作業療法学科は、「きめ細かな学習支援」「一人ひとりの個性を発揮できる教育」「自主性を伸ばす人材育成」という三つの指針を掲げて取り組んでいく。また、夜間部閉講により在学生に不利益が及ばないよう、実習を含む学事の運営を計画的に進める。

以上のことを実現する上での基本は社医学メソッド*の充実・強化である。昨年度取り組んだシラバスの充実を更に図るとともに、授業評価を踏まえた教員の教育力のたゆまぬ向上を求めている。

*高い実践力を備えた医療人として生涯にわたり成長し活躍するための基礎となる力を、成長する基礎力と言い、次の3つの学びにより養われる。「実践で学ぶ」「共に学ぶ」「地域から学ぶ」

2. 広報及び学生の募集活動

広報部門を中心に応募者対応委員会、入試委員会等が連携し、教職員の協力のもと募集活動の更なる強化を図り入学定員の確保につなげる。

令和8年度入学試験から、「AO入試」は名称を「総合型選抜入試」に改め、「自己推薦入試」を新たに設ける。出願方式も紙からWEB出願に切り替える。受験生に配慮し、負担を軽減するための措置であり、確実な運用に努めていく。

指定校（高校・大学）に関しては昨年度よりさらに拡大し、学院の知名度のアップにつなげるとともに高校・大学訪問を通じて指定校先教員との信頼関係の醸成に努める。

3. 地域社会貢献活動の推進

当学院における地域貢献として、発達支援や介護などをテーマにした市民講座の開催や、小金井市介護予防事業の一つであるさくら体操の運営協力などを行ってきた。令和7年度はこれらの活動を小金井市との連携協定締結に基づき、実施していく。具体的な活動が展開できるよう、地域貢献推進企画室を令和7年度中に立ち上げる。

4. キャリア教育並びに学生及び卒業生に対する支援

キャリア教育について、業界等のリソースを活用しながら、初年度から系統的なプログラムを

実施。業界や社会の動きを俯瞰しながら療法士のキャリア形成に関する情報発信を行っていく。

就学（学生）支援として、経済的支援制度の情報提供を学生・保護者（関係者）に行うとともに相談支援を実施。有力かつ良質な就職先に「給付型奨学金」の創設を働きかける。

卒業生支援として、同窓会の窓口として同窓会活動を支援し、卒後キャリア形成プログラムを共同運営していく。求人情報の卒業生への有効利用を可能にする方策を実践する。国家試験受験者に対する支援を継続する。

就職活動支援として、「就職の手引き」に基づき、自己分析から就職活動講演会や就職説明会の企画運営、施設見学、就職試験対策など一連の就職活動を支援する。

5. 法令等の遵守の推進

在校生支援の一つであるハラスメント窓口・調査等を、令和7年度から外部専門機関に委託する。これまで調査を担ったハラスメント対策委員会は委託先と連携し、相談窓口の適切な運用と、学生への周知徹底を図る。

学内・実習におけるハラスメントの防止はもとより、日常の様々な場面におけるコンプライアンスの重視に引き続き取り組んでいく。

6. 管理・運営

改訂した人事評価方法を基に、各部門での業務の進行状況の把握と教職員のスキルアップに努める。災害対応マニュアルをはじめとした、危機管理マニュアルを整備していく。

経営管理面では、授業料収入以外の収入源の確保や学費の見直しを検討するとともに、不要な経費の削減や業務効率の改善によるコスト削減など、支出の適正化を図り、安定的な財務基盤を構築していく。

B 学校事業実施予定

月	項 目
4	ガイダンス 入学式 夜間部臨床実習指導者会議
5	開校記念日 1年三科合同行事 学生健康診断 自治会総会
6	体育祭 生理学実習
7	昼間部臨床実習指導者会議
8	理学療法学科就職説明会
9	作業療法学科就職説明会 成績会議
10	
11	文化祭
12	避難訓練 仕事納め
1	仕事始め 卒業決定会議
2	国家試験
3	卒業式 成績会議（進級会議）

C 職員人事

1 令和7年度教職員名簿

◇学 院 長（1名） 浅沼辰志（兼任教員作業療法学科）					
◇キャリア支援室長（1名）小島 肇（兼任教員理学療法学科）					
◇事 務 所 法人事務局長・学院事務長 深井 牧子					
事務職員9名／非常勤事務職員4名／学校業務支援員3名／校医1名					
庶務課長	古庄 昌彦	広報係長	谷部健太郎	事務職員	齊藤 美陽
事務職員	菅谷 英恵	事務職員	小池千絵美	事務職員	前田 啓志
事務職員	川越 光輔	事務職員	岡山 紗季	事務職員	セウエカリ啓子
◇理学療法学科 専任教員合計15名					
学科長（1名） 小林 規彦 学科長補佐（3名）長屋 説、小宮山一樹、中山 雅和 非常勤職員（1名） 帯刀 隆之					
<夜間部四年課程>					
教 員	藤川 明代	教 員	福田 崇	教 員	佐々木亮平
<昼間部三年課程>					
教 員	森田 浩章	教 員	沼尾 拓	教 員	坂田 晋一
教 員	中村 壮大	教 員	山形 哲行	教 員	林 佑樹
◇作業療法学科 専任教員合計6名					
学科長（1名） 河野 達哉 学科長補佐（2名） 柴田 真実、兵頭 洋子					
<夜間部四年課程>					
教 員	福井健太郎	教 員	河野 崇	教 員	木下 輝
<昼間部三年課程>					
教 員	並木 秀樹	教 員	鈴木 憲雄		

2 各種委員会担当者一覧

I. 常設委員会

委 員 会 名		委 員 氏 名
広報誌制作委員会		●深井、木下、川越
実習指導者研修委員会		●小宮山、山形、林、並木、菅谷
ハラスメント対策委員会		●兵頭、中村、川越 外部委員：中村
自己評価委員会（学校関係者評価委員会担当）		●佐々木、福井、柴田、浅沼、岡山
情報セキュリティ委員会		●福田、坂田、木下、前田
教務委員会（教育課程編成委員会担当）		●小宮山、小林、河野達、長屋、並木、鈴木、岡山
教育備品・図書委員会		●古庄、兵頭、長屋、齊藤
F D ・ S D 委員会		●小島、中村、福井
地域貢献委員会	地域セミナー	●セウエカリ、森田、福田、藤川、河野崇
	・ 小金井市介護者支援講座対応・小金井さくら体操担当 河野崇、岡山、山田	
	介護セミナー	●中山、山田、木下、前田（運営担当）、小池（広報担当）、外部委員：水橋（アビリティーズ）
応募者対応委員会		●小島、○谷部、兵頭、柴田、藤川、坂田、小池、前田
学生委員会		●河野崇、沼尾、森田、並木
入試制度検討委員会		●小林、河野達、柴田、鈴木、谷部、菅谷、小池
研究助成金選考委員会		●浅沼、山田、小林、河野達、深井
感染等対策委員会		●河野達、○浅沼（感染状況とりまとめ）、深井、小林

II. 特設委員会

委 員 会 名		委 員 氏 名
研究倫理委員会		●浅沼、山田、小林、河野達、深井
学則等検討委員会		●古庄、浅沼、小林、河野達、齊藤
国家試験対策委員会		●沼尾、山形、佐々木、林、福井、セウエカリ
地域貢献推進企画室		山田、浅沼、法人事務局長

（注） ●印は委員長、○印は副委員長

D 学生在籍状況及び担任一覧

区 分	学年/期生	在籍数(見込み)	教室番号	担 任
理学療法学科夜間部	1 年/53期	20	1 番	長屋
	2 年/52期	23	3 番	藤川
	3 年/51期	25	5 番	福田
	4 年/50期	34	7 番	佐々木
	計	102		
理学療法学科昼間部	1 年/43期	79	1 番、2 番	森田、沼尾
	2 年/42期	57	3 番、4 番	坂田、中村
	3 年/41期	63	6 番、7 番	山形、林
	計	199		
作業療法学科夜間部	2 年/45期	17	4 番	河野崇
	3 年/44期	23	6 番	木下
	4 年/43期	18	8 番	福井
	計	58		
作業療法学科昼間部	1 年/ 1 期	20	8 番	並木
	計	20		
合 計		379		